



新任のご挨拶

白光園 園長 児玉裕継

本年、4月1日より白光園の施設長を務めさせていただいております。児玉裕継と申します。

白光園をご利用いただいておりますご利用者様の潤いある生活と毎日の安全・安心な介護サービスの提供、さらにはご家族様の信頼に答えられるように努めて参ります。甚だ微力ではございますが、どうぞよろしくお願い申し上げます。

さて、いま日本は、社会保障制度や就労・雇用面等で大きな転換期を迎えていると感じます。福祉や医療、年金等を支えるために、国では「税と社会保障の一体改革」を進めています。こ

の改革は、国民すべてが公平な負担（痛み）を分け合い、益々進む少子高齢化、雇用環境の変化による貧困と格差の拡大等を抑制し、社会保障制度を時代の要請にあつたものに変えることが目的とされています。さらに、

この改革を進めるためには財源が必要です。そのために、消費増税により現行の高齢者3経費（基礎年金、老人医療、介護）を社会保障4経費（年金、医療、介護、子育て）へと「全世代対応型の社会保障」へと変換することになっています。全ての世代が安心感と納得感が得られ、社会保障制度を持続可能なものと

して、将来世代に引き継ぎ残していくことが求められています。

これから迎える超高齢化時代を目前に控え、一刻の猶予もないことは私たち介護現場で働く者として認めざるを得ないことでもあります。特に、平成37年（西暦2025年）には、日本全体での高齢者人口が3500万人を超え、高齢化率でも30パーセントにも及びます。介護保険でのサービス、それを支える介護者等の需要は益々大きくなりま

す。その負託に答えられるよう、事業者として足元と先の両方を注視して、地域の福祉に答えられるように努力して参ります。

これからも、地域の皆様には引き続きご支援とご協力いただきますようお願い申し上げます。

